

タイのビジネス環境と日系企業の動向

～最近の投資動向、行政対応、日系企業を取り巻く環境の変化等～

《開催要領》

日時▶ 2025年 5月 9日(金) 14:00～17:00

会場▶ オンライン【Zoom 配信】(会場参加はございません)

《開催にあたって》

2020年以降、タイにおいてはこれまで日系企業の中で主力産業であった自動車産業が低迷し、その一方で中国からBYDを筆頭に電気自動車のメーカー並びにその周辺のサプライヤーの進出が活発化し、日系企業においては、非常に厳しい事業環境となっており、中小のサプライヤー、加工会社等は撤退を視野に入れたかじ取りが求められる状況になっています。

それに加え、現政権下での最低賃金の増額、親子間での費用の負担の問題等、直面する課題が増えています。

今回のセミナーを通じて、昨今のタイにおけるビジネス環境の変化について理解をしていただくともに、取り組むべき課題を整理する機会として活用いただけるような内容でご紹介いたします。

講師 フェニックス国際税理士法人

Phoenix Accounting (Thailand) Ltd. 税理士 上原重典 氏

講師紹介

アーサーアンダーセン東京事務所・税務部門(現KPMG)を経て独立開業し、1999年に税理士事務所を設立。税理士法人ザットへ参画、2012年よりタイ現地法人の統括責任者として赴任。2016年税理士法人ザットの解散に伴い同法人において統括責任者となっていた事業及びタイ現地事業を引き継ぎ、タイ現地法人をAlpha Professions (Thailand) Co., Ltd.に社名変更、日本、タイにおける会計、税務に関するコンサルティング業務をスタートさせる。日本では、日系、欧米企業の会計・税務・コンサルティング、タイ進出・技能実習生制度等を活用した人材確保等の相談等の業務を提供。タイにおいては、進出日系企業に対する会計税務、人事制度の再構築、日本・タイ間における国際税務に関するコンサルティングを提供。2023年1月よりフェニックス・アカウンティング・グループに合流し、東京、タイに加え、シンガポール、インドネシア、マレーシア、カンボジアの現地拠点と連携し、東南アジア諸国でのクロスボーダ取引に関する会計・税務・ビジネスコンサルティングを提供している。

《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会 検索

■受講料: 1名

正会員	38,500円(本体価格 35,000円)	一般	41,800円(本体価格 38,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。

「一般社団法人企業研究会⇒セミナー⇒各セミナーページ

(フリーワードに事業コードをご入力でご覧いただけます)」

事業コード: 251211

■よくあるご質問(FAQ)は当会 HP にてご確認ください。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます / ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。

※お申込の際にご記入の個人情報は、セミナーに関する連絡および当会主催事業の案内をお送りする際に利用させていただきます

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/馬場 E-mail:baba@bri.or.jp

〒110-0015 東京都台東区東上野1丁目13-7 ハナブサビル TEL:03-5834-3922

・プログラム・

1. タイの動向

- (1) 最近の新規投資動向
BOI、商務省、JETRO 等発表の統計資料から見る投資動向
- (2) 為替の影響
円・パーツの変動とドル・円の変動から見る影響
- (3) タイ政府の政策(最低賃金引上げ)
最低賃金引上げによる影響
- (4) 個人借入れの審査基準の引き上げ
個人消費への貸付金審査の強化による市場への影響

2. 税務的な観点での課題

- (1) 親子間の費用のチャージに対する調査
- (2) 駐在員給与をめぐる問題

3. 移転価格税制に基づいた対応

- (1) タイの移転価格税制(概要)
- (2) 取り組むべき課題
- (3) 日本における課題

4. 今後の課題

- (1) 継続する場合
- (2) 撤退を検討する場合
 - ① 解散・清算
 - ② 事業売却
 - ③ 会社売却

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。